

特集「コロナ禍を外国人」

これまで誰も経験したことのない、「新型コロナウイルス」という緊急事態。日本で仕事をしている、また勉強している外国人のみならずは、さぞかしいろいろな不安やご苦労があるのではと思います。今回は日本で共に暮らす8名の外国人市民にお集りいただき、コロナ禍をうまく生き抜くために、その経験を話していただきました。(座談会は2020年10月10日に開催。)

出席者



チン ショウテイ
陳 詔悌さん
台湾出身
デザイン会社勤務

チョウ エイシヨウ
張 瀛洲さん
中国出身
川崎市親善留学生

ミシェルリン カストロ
浅井 Michelyn Castroさん
フィリピン出身
介護施設勤務

ロウ ウェン ゼ
LAW WEN ZHEさん
マレーシア出身
会社員

グエン シュアン ハン
Nguyen Xuan hanhさん
ベトナム出身
会社員

ソコフスキ マチエイ
Sokolowski Maciejさん
ポーランド出身
研究者

チン アンジ
陳 雯児さん
中国出身
川崎市親善留学生

ユウ カイイ
游 凱威さん
中国出身
会社員

(以下敬称略)

島田: 日本では今年の1月ごろから新型コロナウイルスが話題となりました。最初にこのニュースを聞いたとき、いちばん不安に思ったことは?



張: テレビのニュースで、中国の武漢に住むある家族では、祖父母と両親がコロナに感染し、子ども2人を残して亡くなってしまったと知り、とてもショックを受けました。

ハン: 今までになかった病気なので、薬も治療法もなく心配になりました。もし自分がかかったら家族にうつってしまうかもしれないし。

ミシェルリン: 高齢者の介護施設で働いていま

す。最初はどんな予防をすればよいのかもわからず、とても不安でした。施設ではとりえずインフルエンザと同じ対策を取っていました。



雯児: 家族は中国の海南島という島に住んでいるので本土ほど影響はなく、感染が拡大してすぐに島を閉鎖したので、みんな無事でした。この時はまだ日本でもマスクが手に入ったので、すぐに買って送りました。その後、日本でマスク不足になった時には中国から送ってくれました。(笑)

詔悌: 1月末の旧正月に台湾に帰国した時にはすでにみんなピリピリしていましたが、日

本ではまだまだあまり心配していないようで、電車はいつも満員。大丈夫なのかな?と心配になりました。

游: 最初はそれほど気にしていませんでしたが、すぐに蔓延したので恐ろしくなりました。当時、中国にいた妻は空港閉鎖のギリギリ1週間前に日本に来ることができてよかったと思いました。



島田: 日本では4月になって緊急事態宣言が出されましたが、外出自粛中はどのように過ごしましたか?

張: 4月から昭和音楽大学に入りましたが、オンライン授業になり、友達にも会えません

川崎市国際交流センター「多文化共生総合相談ワンストップセンター」より

コロナ禍における外国人窓口相談 ~2020年度上半期 外国人窓口相談件数のまとめ~

川崎市国際交流センターでは、2020年4月から9月までの上半期に取り扱った外国人窓口相談件数や内容の中に、今春から拡大した「新型コロナウイルス」感染の影響を確認しました。統計によると以下のような傾向がみられます。

【2020年度上半期相談の傾向】

2020年度上半期の相談件数は1,497件で、昨年度同時期の752件に対し約2倍の件数を記録しました。このうちの29%にあたる435件は新型コロナウイルス感染症に関する相談内容です。

また、日本人を除く国籍別では、ネパールが例年最多の中国を上回り、147件の最多件数となりました。

内容別では、出入国在留管理局や住宅確保に関する問い合わせや、医療関連、雇用・労働関連の相談が多くありました。以下は参考例として相談の一部を紹介します。

- 政府からの給付金についての質問
- 日本の在留資格を持っており、在留期限を迎えようであるが、入国制限で日本に帰ることができない。在留期間の更新はどうすればよいか。

- 失業してしまったが職探しをどうすればよいか。
- 失業し生活が困窮している。お金を貸して貰えないか。
- 観光ビザで来日中の帰国できない親のビザを延長する方法が知りたい。
- 観光ビザで来日中の家族に持病があるので、薬が必要。どこに行けばよいか。
- コロナ感染の不安から精神的に辛い。
- 喉痛や微熱があり不安。
- 子どもの学校が休みで仕事ができず経済的に逼迫。お金を借りることはできるか。
- 給付金10万円は外国人ももらえるのか。申請方法を知りたい。

こうした多岐にわたる相談に、ワンストップセンター相談員は日々更新される最新情報を揃えて対応にあたりました。母国へ帰国したくてもできない状況下にある外国人市民の不安は想像をこえるものがありますが、ワンストップセンターでは12人中8人の相談員が担当言語国出身者のため、母国言語と文化の理解をもって対応することで、心の安らぎを得たという喜びの声も届いています。

新型コロナウイルス感染症の終息までまだ時間がかかりそうですが、今後も外国人市民支援の一翼を担えるよう相談員一同頑張りたいと思います。

市民に聞いてみた!

した。通っていたスポーツジムも閉鎖になり、ひとりでさみしい毎日をご過ごしていました。



ハン: 当時、会社へは毎日通っていましたが、子どもの学校が休校になり困りました。幸い子どもを預かってくれるという友人がいて、2週間ほど預かってもらいました。その後は仕事が在宅になりましたが、次が来たらどうすればいいのか、先が見えません。

マチエイ: 大学で研究の仕事をしていましたが、セミナーや会議などはすべてオンラインになりました。3月、4月は娘の幼稚園が休園になり、習い事もすべてお休み。友達にも会えない状態でした。たまたまポーランドから母が観光に来ており、一緒に過ごせたのはよかったのですが、その後日本でも感染が拡大し、いろいろ大変なことになりました。結局ポーランド政府が手配したチャーター便に乗り、無事ポーランドに戻ることができました。

自粛中の運動不足解消のため、子どもと自転車走り回ったり、ランチャクを買って運動しています。「コロナスポーツ」と呼んでいます。

ロウ: 仕事はテレワークになってむしろラクになりました。就業時間がきっちり守れるうえ、朝もゆっくりできます。満員電車に乗ることもなくなり、移動はロードバイクになりました。



ミシェル: 介護の仕事をしているので、仕事は休めるどころか、コロナ前よりも大変になりました。自宅では主人の両親の介護もしているので、施設だけでなく家でも消毒の徹底や体調のチェックを行わなければならず、

つねに気を張った状態です。外から帰ったら荷物も靴も消毒しています。学校が休校になると、家にいる子どものことも心配ですから自宅にカメラをつけました。仕事の休み時間にLINEで連絡して、子どものストレスがたまらないように工夫をしています。

雯児: 音楽教室でアルバイトをしています。2か月間休業になり、収入が0になりました。でもその間、大阪にいる彼氏と一緒に暮らし、近所の公園にお花見に行ったり、楽しく過ごせました。コロナのおかげです。(笑)



詔梯: 在宅ワークでしたが、シェアハウス住まいなので、孤独感もなく、楽しかったです。ただし、外で会話する機会が減り、日本語がちよっと怪しくなってきたかも?

島田: 次に、お国のコロナ対策について伺います。日本と比べてどうですか?

ハン: (ベトナムは) とても厳しいです。ベトナムの感染者は10月10日時点で3,105人、死者は35人です。でも、もしひとりでも感染者が出たら、その街ごと、封鎖になります。外出の際、マスクをしていなければ罰金です。

ミシェル: フィリピンも厳しいです。年齢によって外出制限があり、60歳以上の人は簡単には外へ出られません。見つければ罰金です。それ以下の人も週に3回しか外へ出られません。



ロウ: マレーシアでは店に入るときには名前と電話番号を書かされます。州をまたぐ移動も禁止です。州外へは移動の為の許可証(Movement Control Order Permit)が必要でです。

マチエイ: ポーランドでは自分が感染しているのを知って外出すると、刑務所行きになるかもしれません。もしなったら6か月~8年の刑となり、とても厳しいです。母が帰国したときも検疫を受けた後、2週間隔離され、その間毎日、警官に訪問されました。(笑)

島田: 今後、もし第三波が来たら、どんなサポートがあれば良いと思いますか?

張: ワクチンが使えるようになることと、PCR検査が無料でできるようになること。

ミシェル: コロナ禍で介護従事者はますます大変になっているのに、給料が安いんです。もう少し上げてほしいです。

マチエイ: クリスマスには本国に帰れるようにしてほしいです。



ロウ: 感染者が出た店舗などの情報を公開してほしいです。

游: 病院でPCR検査を受けたい人がすぐに受けられるようにしてほしい。

雯児: トイレットペーパーやマスクの品切れを起こさないこと。

詔梯: 民間でPCR検査を受けられるようになりましたが、高いので費用のサポートをしてほしいです。

島田: 外国人のみなさんの想いは私たちと同じですね。

川崎市国際交流センターには外国人相談窓口があります。皆さんの周りでもし困っている方がいたら教えてあげてください。本日はありがとうございました。

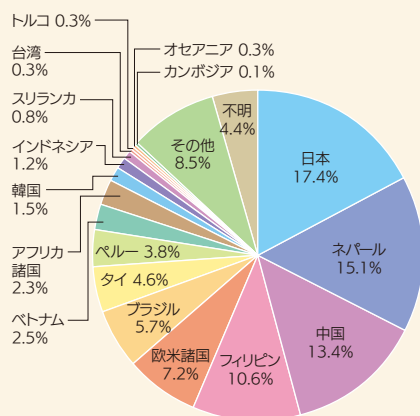
(司会: 川崎市国際交流協会 交流事業課長 島田秀雄
取材・文: 編集ボランティア 水野 裕子
写真: 撮影ボランティア 安田 芳郎)

※文は参加者が話したままに表記しています。

国籍別相談者数

■2020年4月~9月

国籍	相談者数
日本	170
ネパール	147
中国	131
フィリピン	103
欧米諸国	70
ブラジル	56
タイ	45
ベトナム	37
ベトナム	24
アフリカ諸国	22
韓国	15
インドネシア	12
スリランカ	8
台湾	3
トルコ	3
オセアニア	3
カンボジア	1
その他	83
不明	43
ミャンマー	0
モンゴル	0



相談内容別相談件数

相談内容	相談件数	うちコロナ関連
通訳・翻訳	278	91
日本語学習	160	6
入管手続	105	25
教育(学校・大学・国際学校など)	87	2
住宅	83	49
医療	76	20
出産・子育て	72	9
社会保険・年金	59	12
雇用・労働	57	20
身分関係(結婚・離婚・DV)	33	0
税金	31	1
交通・運転免許	5	0
防災・災害	1	0
その他	450	200

